

2015.11

現代人の入浴事情 2015

日本人はお風呂好きといわれており、入浴は私たちの暮らしの中でなくてはならないものである。都市生活研究所では、日本人の入浴や浴室について調査を重ねてきた。本レポートは、2014年に実施した調査を元に、入浴に関する生活者の意識と実態をまとめたものである。

■「入浴が好き」は全年代共通

- ・男女全年代で約8割が「入浴が好き（好き+まあ好き）」と回答。
- ・「お湯につかる入浴が好き（好き+まあ好き）」な人は、さらに多い。

■入浴スタイルは「シャワー入浴派」が増加

- ・全体では「暑い時期はシャワー入浴、それ以外は浴槽入浴」という回答が多いが、20代は「シャワー入浴派（一年中シャワー入浴のみ+一年中シャワー入浴が多い）」が多く、60～70代と30代女性では「浴槽入浴派」も多い。
- ・2009年、2012年の調査結果と比較すると「シャワー入浴派」が増加している。

■10代女性の3割以上が入浴中にスマートフォンを使っている

- ・「入浴時間」「お湯につかる時間」とともに10代女性が最も長く、冬の平日の平均入浴時間は、全体26.4分、10代女性33.0分。お湯につかる時間は、全体13.7分、10代女性17.9分。
- ・浴槽入浴の際に行うこととして、10代女性の32.3%が「携帯電話やスマートフォンを使う」と回答。20代女性も21.7%が使うと答えている。
（※10代は中学生を除く15～19歳）

調査概要

■定量調査①

調査時期：2014年8月～9月
調査方法：インターネット調査
調査対象：一都三県在住 15～79歳男女
回答者数：2600名 ※詳細は最終ページ参照

■定量調査②

調査時期：2015年1月
調査方法：インターネット調査
調査対象：一都三県在住 15～79歳男女
回答者数：2600名 ※詳細は最終ページ参照